

1. Topics

●「J-Debit使ってトクトクキャンペーン'05夏」実施中

2005年6月1日から7月31日までの2ヶ月間、「10名様に10万円を、300名様に5,000円をキャッシュバック」するJ-Debitキャンペーンを実施しています。今回より、キャンペーンタイトル末尾を「'05夏」と省略形にするなど、利用者が郵便ハガキで応募する場合の手間を極力少なくできるよう工夫しました。キャンペーンタイトルについては次回以降も同形式とする予定です。

また、前回まで「ご利用3件までの合計金額が5,000円以上(税込み)で1口の応募」としていた応募条件を、今回より「ご利用1回あたりの金額が5,000円以上(税込み)で1口の応募」としたほか、当選者に対しては賞品発送前に予め協議会より電話等により連絡することとするなど、デビットカードのより一層の利用増強やキャンペーンのより厳格な運営に向けた取り組みを継続しています。

一般の方々へのキャンペーンの告知は、読売新聞の題字横に広告を掲載したほか、6月の1ヶ月間、全国のJR等の車両のドア横にキャンペーン告知ステッカーを掲出し、アピールしました。また、5月下旬にポスター、応募はがき兼用リーフレットを金融機関、加盟店に発送しました。応募締切は7月31日になっています。ポスター等を店頭へ掲出し、デビットカード利用者への周知をお願いします。

キャッシュカードでお支払い
それがジェイデビット。



J-Debitマークのあるお店なら、全国どこでもお手持ちのキャッシュカードをお支払いにご利用いただけるサービスです。

全国キャンペーン開催中 6/1⑧～7/31⑨

日本デビットカード推進協議会
<http://www.debitcard.gr.jp/>

<読売新聞のキャンペーン広告>
2005年6月16日(木)の朝刊に掲載



<JRのステッカー>

キャンペーンの応募先

- ハガキの場合 〒100-3191 東京国際郵便局 私書箱5011号
「J-Debit使ってトクトクキャンペーン'05夏」応募事務局
- パソコンの場合 <http://debitcp.jp/>
- 携帯電話の場合 jdcp@debitcp.jp

※応募の締め切りは
7月31日

●デビットカードに関する調査結果(一般消費者向け)

2005年4月、利用者のデビットカードに対する意識および、デビットカードの利用実態を総合的に調査・分析し、現状の課題の認識および、今後の普及促進に役立てることを目的に、一般消費者を対象とした「デビットカードに関するアンケート調査」を実施しました。調査対象は首都圏、中部、関西居住者の20歳代から60歳代以上の成人男女2,035名で、インターネットを利用して行われました。

デビットカードの認知度は75%になり、前回の60.7%から大幅にアップし、市場規模の拡大を裏付ける結果となりました。同時に利用経験者も前回の調査の5.0%から15.1%に10%以上の伸びとなりました。

利用が多かった業種は、家電量販店が49.7%と圧倒的に多く、次いで百貨店、大手ショッピングセンター・ディスカウントショップ・ホームセンターの順になっています。他の決済方法の利用場所と比較すると家電量販店での割合はクレジットカードの比率とほぼ同率で使われているという結果となりました。

利用額(1回あたり)の調査では、1万円以上が46.7%を占め、クレジットカードの1万円以上の33.9%と比較し、1回あたりの利用額はデビットカードの方が高いことが分かりました。ちなみに電子マネーの利用額は1,000円未満の小額決済が63.2%と最も多くなっています。

利用した理由(きっかけ)の1位は「現金の持ち合わせがなかった」、2位が「金融機関に行く手間・ATMに並ぶ手間が省ける」、3位が「預貯金の残高内で買い物ができる」という結果となっています。

【利用意向理由の順位】

- ① 特別な申し込み手続きがいらない (58.8%)
- ② 預貯金残高の範囲内で買い物が出来る (57.2%)
- ③ 入会金や年会費・取扱手数料がいらない (55.4%)
- ④ 金融機関に行く手間が省ける (55.0%)